

令和3年度花見川区地域活性化事業

交流スペース・アイ活用による
“多世代交流”および“健康維持増進”
三か年の取り組み

2022年3月10日
NPO法人千葉西地域包括多職種の会



交流スペース・アイ

2018年春より、体操や健康麻雀、ワークショップ等を開催。高齢者を中心に集まっている。

交流スペース・アイを運営する
NPO法人千葉西地域包括多職種の会が目指すもの

各世代の居場所づくり・活力ある地域社会づくり

- 生活援助・終活支援
- 未病改善支援・健康維持増進の普及啓発
- 社会参加支援

本事業の背景

- ▶ 高齢化・核家族化により、独居または日中独居の高齢の方、地域で孤立している方が増えている。
- ▶ 高齢化は、認知症や身体機能の低下等で要介護の方が増えている。
- ▶ 核家族化により、若い世代で子育てと親の介護が重なるダブルケアラーが増えている。

**健康の維持増進、外出の機会や多世代との交流、
健康や介護などの相談ができる場が求められている**

当初実施予定の内容



交流スペース・アイを活用し
多様なイベントを開催
多世代の交流・健康維持を図る

- 多世代の交流
手作りワークショップ等
- 男性やシニアの新たな楽しみの創出
コーヒーの淹れ方・健康麻雀教室等
- 健康維持増進
シニアリーダー体操などの体操教室等
- 健康や生活への不安解消
看護師の“まちの保健室”、ケアマネの
“介護相談”、栄養士などの“健康講話”

本事業で目指したこと

- ▶ 健康や介護への不安軽減
- ▶ 多世代との交流
- ▶ 個人の新たな楽しみの発見

**住民同士の新たなコミュニティが形成され
活力ある地域となる**

1年目（2019年）の実施内容と進捗（実績）

- 毎週、体操や茶話会、介護相談、健康講話などを実施し、地域の方の参加が増えてきた。
- 参加者の要望を聞き、健康麻雀やカラオケなどを開催し、参加者の定着に繋がった。
- アロマ教室などを夜に開催することで、多様な世代が参加できるよう工夫した。
- 課題：参加者が高齢者に偏っている。



2年目・3年目の取り組み

(1年目終了時点計画)

【2年目】

子どもも参加できるイベントを企画し、参加者の年代の幅を広げていくとともに、多世代の交流を図る。

【3年目】

サロンの運営などを地域の方たちに手伝っていただき、参加者それぞれが役割を持てるようにしていく。

2年目（2020年）4月、思わぬ出来事

新型コロナウイルス感染症拡大により
緊急事態宣言！

リアルに集まって交流することが
難しくなった！

新型コロナウイルス禍でできることを検討

- ・オンラインの活用
 - ◆歩いて会場に来られない方への対応に活用できる
 - ◆オンライン初心者向けの講座の開催（別事業）
- ・コロナ禍で活動場所が減少した、他のNPOやボランティアグループ等との連携
- ・感染予防を徹底したイベントの開催方法

2年目の実施内容と進捗（実績）

- 緊急事態宣言中は、活動を中止。
- 他NPO法人等と共同で夏祭りなどのイベント開催。多様な世代が参加。
- シニアリーダー体操は、感染予防対策を行い12月から再開。毎回、高齢者10人程度が参加。
- 12月からオンライン併用のイベントを開催。新たな参加者を増やすことができた。

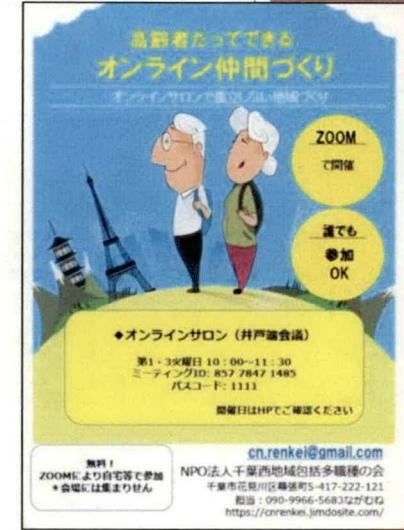


3年目も、新型コロナウイルス感染症により

**交流スペース・アイの使用を
しばらく制限することに...**

3年目の実施内容と進捗（実績）

- ZOOMを利用した「オンラインサロン」を中心に活動することにした。
- オンラインサロンに参加する方たちが、「学び」「楽しみ」「交流」ができるようプログラムを組んでいった。参加者は定着し、良好な刺激のある交流ができている。
- シニアリーダー体操を10月～11月にリアルで再開。残念ながら、他の会場へ移ることとなった。



3力年の活動を通じて、得られたこと

- ・新型コロナウイルス感染症により、新たな交流の形である「オンラインサロン」に取り組み、定着させることができた。
- ・地域住民やあんしんケアセンター、他のボランティアグループ等との良好な関係が構築でき、さまざまな協力依頼が来るようになった。
- ・自分たちの強みを把握することができた。

最後に

**来年度以降も
「オンラインサロン」を中心に
自分たちの強みを生かし
地域の方たちを元気にできる取り組みを
続けていきます！**